

**特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 第15回通常総会
第15期（2021年10月1日～2022年9月30日）事業報告書**

第1 事業実施の方針

全国通訳案内士等の研修事業、江戸以来の伝統的な生活の知恵・生活思想の研修事業を行うとともに、出版物の発行及び電子媒体による情報発信事業を行う。

第2 財産及び収支の概要

1 2022年9月30日現在、正味財産は前年度より**97,174円**増加し、11,476,121円となった。

2 収入および支出

総括表

単位：円

	第15期	第14期	第13期	第15期の第14期に比較した増減額
	2021年10月～ 2022年9月	2020年10月～ 2021年9月	2019年10月～ 2020年9月	
総収入	34,422,550	35,090,749	41,050,723	△668,199
総費用（法人税等除く）	34,185,369	35,647,544	39,669,440	△1,392,175
正味財産増減額	97,174	△556,799	1,311,281	653,973

概要説明

本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が多大な影響を及ぼし、当交流塾の主たる事業であるインバウンド関連の人材事業は、厳しい状況に置かれた。当交流塾の主要事業は、訪日外国人に対するガイドや体験講師のスキルアップであり、人材育成である。訪日客の2年余にわたる激減は、就業機会の決定的な減少をもたらし、必然的に退会者も増加する。一方、通訳案内士の就業機会の減少と試験問題の難化により、通訳案内士試験の受験者、合格者ともに減少した。その結果、当交流塾の入会者も減少した。

しかしながら、年会費を11,500円に改定したことにより、年会費・入会金計は102.6%と微増した。当交流塾会員が通訳案内士としての活動により強い熱意を持つ者に絞り込まれている、との見方もできる。

これに対して、研修事業収入は、2020年度より若干減少し、対前年度比で95.6%となった。その主な理由として、昨年度の売り上げ増に貢献した富裕層対象のガイド養成研修『プレミアムガイド研修』が本年度は実施されなかったこと、コロナ第6波・第7波の影響が前年度以上に大きく、実地研修が縮小されたことがあげられる。

一方、昨年度に引き続き、Zoom研修や収録動画によるeラーニングサービスの質は向上し、より広範囲に活用できるようになった。その顕著な例が通訳案内研修(法定研修)である。オンライン受講の利便性と学習効率・効果の高さが当交流塾会員はもちろん、それ以外の通訳案内士にも浸透し、その売り上げは前年比758.1%と大幅に増加した。

支出面では、オンライン研修の増加による費用対効果の改善により、対前年度に比べ総費用が 95.9% に縮小した。

更に、事業外収入については、本年度、東京都及び国等からの助成金、会員からの寄付金などにより、170 万円余の収入があった。この結果、本年度は 9 万円余の黒字が生じた。

また、9 月 4 日には、初めての試みとして、東京沖縄芸能実演家連盟主催、当交流塾後援の『日本文化体験交流塾文化祭（日本酒を飲みながらお酒にまつわる民謡を聞く会）』を機械振興会館ホールにて、開催した。日曜日ながら計 44 名の方(アーカイブ 15 名を含む)が参加され、大盛会となった。

【収入内訳】

	項目	第 15 期実績	第 14 期実績	第 13 期実績	
年会費収入	入会金	458,200 円	360,000 円	470,000 円	
	年会費	9,942,300 円	9,774,000 円	11,395,800 円	
	年会費・入会金計	10,400,500 円	10,134,000 円	11,865,800 円	
	同上対前年度比較	102.6%	85.4%	81.3%	
研修事業収入	(1) 新人研修	2,634,231 円	2,760,462 円	3,410,568 円	
	(2) ガイド研修	11,029,472 円	16,279,987 円	8,728,330 円	
	実地研修(ウォーキング研修+ (3)バス・地域研修)	語学研修	907,276 円	1,427,549 円	
		語学研修	6,407,453 円	6,436,840 円	
		座学研修	3,714,743 円	8,415,598 円	
	(4) 日本文化研修	4,924,787 円	3,105,036 円	4,977,686 円	
	(5) 法定研修 ※1	2,359,538 円	311,225 円	－円	
	(6) その他研修 ※2	506,960 円	－円	－円	
	研修事業計	21,454,988 円	22,456,710 円	17,116,584 円	
	同上対前年度比較	95.5%	131.2%	57.4%	
出版事業収入	自主出版	431,226 円	1,769,452 円	4,061,376 円	
	著作権収入	324,415 円	550,285 円	1,597,991 円	
	出版事業計	755,641 円	2,319,737 円	5,659,367 円	
	同上対前年度比較	32.6%	41.0%	304.5%	
年会費・事業収入計		32,611,129 円	34,910,447 円	34,641,751 円	
同上対前年度比較		93.4%	100.8%	74.9%	
事業外収入	基金収入			853,000 円	
	補助金	1,734,909 円	70,000 円	3,000,000 円	
	物販・その他	76,512 円	110,302 円	2,555,972 円	
事業外収入計		1,811,421 円	180,302 円	6,408,972 円	
総収入		34,422,550 円	35,090,749 円	41,050,723 円	
同上対前年度比較		98.1%	85.5%	82.5%	

※1 法定研修は、通訳案内士法による通訳案内研修（登録研修機関研修）である。2018年1月3日以前に通訳案内士登録された方は、2023年1月3日までに本研修を受講する義務があり、受講されない場合、登録の取り消しの可能性がある。

※2 その他研修

True Japan Tour 株式会社が実施する旅程管理研修につき、当交流塾の会員が実施する分について、受託して実施したもの。

【費用内訳】

	項目	第 15 期実績	第 14 期実績	第 13 期実績
1.事業費	講師謝礼	8,269,956 円	5,432,137 円	7,666,548 円
	(1)人件費 事業助手	146,807 円	335,918 円	1,018,193 円
	(1)人件費 小計	8,416,763 円	5,768,055 円	8,684,741 円
(2)運営経費	業務委託費及び事務委託	16,336,695 円	14,181,822 円	13,090,914 円
	支払手数料 (事業)	1,096,981 円	1,031,952 円	813,240 円
	その他経費	1,831,579 円	5,733,885 円	6,510,512 円
	(2)運営経費 小計	19,265,255 円	20,947,659 円	20,414,666 円
1.事業費計		27,682,018 円	26,715,714 円	29,099,407 円
2.管理費	人件費	2,990,007 円	3,710,473 円	6,542,628 円
	(1)人件費 (1)人件費 小計	2,990,007 円	3,710,473 円	6,542,628 円
(2)設備費他	システム利用料・通信費計	1,878,863 円	3,607,876 円	2,851,746 円
	その他経費	1,634,481 円	1,613,481 円	1,175,659 円
	(2)設備費他 計	3,513,344 円	5,221,357 円	4,027,405 円
2.管理費計		6,503,351 円	8,931,830 円	10,570,033 円
費用計		34,185,369 円	35,647,544 円	39,669,440 円
同上対前年度比較		95.9%	90.0%	73.0%

第3 活動実績の概要

1 会員総数

期数	第15期	第14期	第13期	第12期
年	2021年10月 ～2022年9月	2020年10月 ～2021年9月	2019年10月 ～2020年9月	2018年10月 ～2019年9月
個人会員数	1,082人	1,286人	1,516人	1,702人
入会金	458,200円	360,000円	470,000円	1,125,000円
年会費	9,942,300円	9,774,000円	11,395,800円	13,463,000円
入会金・年会費計	10,400,500円	10,134,000円	11,865,800円	14,588,000円
同上対前年度比較	102.6%	85.4%	81.3%	

【入会者数と退会者数経緯】

	前年度末 会員数	入会者数(A)	退会者数	年度末 会員数	退会率	全国通訳案内 士試験合格数 (B)	(A) / (B)
2018年	1,662人	315人	253人	1,724人	15.22%	1,649人	19.10%
2019年	1,801人	176人	275人	1,702人	15.27%	753人	23.37%
2020年	1,702人	94人	280人	1,516人	16.45%	618人	15.21%
2021年	1,516人	64人	294人	1,286人	19.39%	489人	13.08%
2022年	1,286人	65人	269人	1,082人	20.00%	347人	18.73%

説明

第15期の年会費収入は、第14期と比較して102.6%となり、わずかであるが増加に転じた。

その理由は、以下のとおりである。

- ① 全国通訳案内士試験の合格者数は、約29%減少したが、当交流塾の入会者数は、微増した。2020年～21年の入会者数は、通訳案内士試験の合格者の13%～15%となっているが、2022年の比率は18.73%と増加に転じている。当交流塾のきちんとした全国通訳案内士向けの研修の魅力によるものと思われる。
- ② ここ数年の退会者数は年度末会員数の一定比率(15%～17%)となっていたが、2022年の比率は20%と平均より高かった。これは、新型コロナウイルス感染症によるインバウンドの縮小により、通訳案内士としての活動をあきらめた者が多かったことも、一因である。
- ③ 一方、本年度からは年会費10,000円から11,500円に、入会金は5,000円から7,000円に値上げさせていただいた。
- ④ また、残った会員のうちの975名(90%)からは、年会費が済々と納入されていた。
- ⑤ この結果、2022年度は退会者数が入会者数を上回っているにも関わらず、年会費+会費収入が微増となり、当交流塾の活動の支えとなっている。

2 会員の研修事業

全体の概要

期	第15期	第14期	第13期
年月	2021年10月～ 2022年9月	2020年10月～ 2021年9月	2019年10月～ 2020年9月
金額	21,454,988円	22,456,710円	17,116,584円
対前年度比較	95.5%	131.2%	57.4%

(1) 全国通訳案内士 新人研修

2022年1月から7月まで

講座・研修		実績額(円)
関東 A 日程	事前研修(宗教編・観光編)、I 講義①②、成田送迎バス、II 都内バス、III 日光バス、IV 箱根バス、V 講義③、プレゼン演習 (2班で実施)	2,634,231円 (前年比 95.7%)
関西 B 日程	事前研修(宗教編・観光編)、I 講義①②、関空送迎・大阪城、II 奈良バス、III 京都バス①、IV 京都バス②、V 講義③④、プレゼン演習	

2021年1月から9月まで

講座・研修		実績額(円)
関東 A 日程	I 講義①②、成田送迎バス、II 箱根バス、III 都内バス、IV 日光バス、V 講義③④、プレゼン演習 (2班で実施)	2,760,462円 (前年比 80.9%)
関西 B 日程	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II 京都バス①、III 奈良バス、IV 京都バス②、V 講義③④、プレゼン演習	

説明

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、以下の変更等を余儀なくされた。

新人研修・関東 A コースのバス研修	2021年3月実施予定を、7月に実施に変更
新人研修・関西 B コースの講義・プレゼン演習	教室実施予定を Zoom での実施に変更

- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による急な変更等に伴い、受講者数は低迷した。

(2) ガイド研修（バス・地域研修以外）

2021年10月から2022年9月まで

講座・研修	実績額(円)
シリーズ講座(禅と日本文化、日本建築史、食文化の歴史)	10,494,744 円 (前年比 70.4%)
座学系の研修(先輩ガイドに聞く、Japanese culture、スピーキングマラソン)	
まち歩き(鎌倉・フォトスポット・川越)	
通訳技術養成講座	
医療通訳講座	
プレゼン演習	
語学研修(英会話サロン、フランス語で京都案内、英語で読むアメリカ史)	
その他ガイド(鎌倉動画作り)	

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
プレミアガイド研修	14,908,658 円 (前年比 195.7%)
座学系の研修(先輩ガイドに聞く10、通訳案内士の為の宗教講座、ゼネラルトピック演習、禅と日本文化ほか)	
まち歩き研修(フォトスポット研修)	
通訳技術養成講座	
医療通訳講座	
語学研修(初めての通訳訓練法、フランス語で〇〇案内、スペイン語版説明テクニックほか)	
関西講師	

説明

①研修実績額減少の主たる理由は、第一に、昨年度435万円余を売り上げた『プレミアガイド研修』の実施がなかったことである。また、新型コロナウイルス感染の第6波・第7波の影響により、街歩きなどの実地研修が実施できず、その売り上げも53万円余に留まり、対前年比37.5%に減少した。

②シリーズ講座の実施

前述の『プレミアムガイド研修』の流れを汲み、昨年より引き続き実施した『禅と日本文化』に加え、本年度は新たに各分野で高名な講師を招き 8 回～10 回の連続した講座を実施、要求水準の高い富裕層にも対応できる通訳案内士としての知識向上をサポートした。

第一弾として 5 月～9 月に『日本建築史』講座を実施、述べ 100 名以上の受講者を集めた。また、動画受講システムにより、実際の講座終了後も継続して現在まで売り上げがある。

更に 8 月より『食文化の歴史』講座を実施、10 月からは『美術工芸の系譜』講座も実施し、それぞれ好評を博している。

シリーズ講座名	受講者数 (9 月末時点)	実績額(9 月末時点)
日本建築史	117 名	1,630,750 円

③通訳技術養成講座の拡充

前年度の好評を受け、Zoom を活用した通訳技術養成講座のレベル数やクラス数を増加した。レベルは初級・中級・実践の差レベルを設けたことにより、受講生の継続につなげた。また、講座のターム終了後に検定試験を実施、こちらもレベルを 2 級・準 1 級、1 級にわけ、現在までに 1 級を除き複数回実施した。

結果として述べ受講者数が増加、売り上げも対前年比 280.9%増の 448 万円余となり、来期に向けた同講座の知名度アップにもつながった。

講座名	受講者数 (リピート受講も含む延べ数)	実績額
通訳技術養成講座(初級・中級・実践・検定試験)	135 名	4,484,500 円

(3) バス・地域研修

2021年10月から2022年9月まで

講座・研修	実績額(円)
木曽路ガイド研修(オンライン研修)	534,728 円 (前年比 39.0%)

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
バス研修(中部バス研修、名古屋まち歩き、金沢まち歩き、奥多摩バス研修、富士山・河口湖研修)	1,371,329 円 (前年比 123.4%)

説明

前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により、バスを利用した研修の実施が出来なかった。募集自体を控えざる得ない状況に加えて、実施に向けて進めていた以下の研修も実施を中止せざるを得なかった。結果として、実績額も対前年比 39.0%と減少し、53 万円余に留まった。

開催中止となった講座

- ・中部バス研修(2021年11月)
- ・名古屋／高山／金沢バス研修(2021年12月)

(4) 日本文化研修

2021年10月から2022年9月まで

講座・研修	実績額(円)
英語による茶道教室(国際茶道)	4,924,787 円 (前年比 158.6%)
折り紙・風呂敷・寿司づくり体験講師養成講座	
落語の話術・美術講座・花街講座	
日本のお酒・ワイン超入門・日本酒と料理・和菓子と日本茶	

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
英語による茶道教室(国際茶道)	3,105,036 円
折り紙・風呂敷体験講師養成講座	(前年比 62.3%)

説明

以下の3つの要因により、本年度の実績額は対前年比 158.6%増の 492 万円余となった。

①前年に引き続き、手元カメラの使用などで実施可能となった折り紙や風呂敷・寿司づくりなどの体験講師養成の ZOOM 講座を拡充した。また、密を避け、感染対策を徹底することで本年度は状況に応じて会場での研修も実施可能となった。結果として、97 万円余の売り上げにつながった。

②前年度になかった研修を積極的に実施した。会場、Zoom 配信、オンライン動画視聴の異なる 3 タイプによる受講方法を利用した落語や美術・花街に関する講義、人気の高い食に関する日本酒・ワイン・お茶などの研修を実施、合計で 104 万円余を売り上げ、実績額に貢献した。

③英語による茶道教室(国際茶道)も本年度に入り、初級・中級・上級・マスターの各講座に受講生が戻ってきた。感染対策を徹底する限り、会場での受講にも積極的に参加いただけるようになってきたと言える。その結果、認定試験も含めると本年度、264 万円余の売り上げとなった。

(5) 通訳案内研修（登録研修期間研修）

2021年10月から2022年9月まで

講座・研修	実績額(円)
通訳案内研修（会場での実施）	
通訳案内研修（オンライン受講）	2,359,538 円

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
通訳案内研修（会場での実施）	
通訳案内研修（オンライン受講）	311,225 円

説明

・前年度に引き続き、登録研修期間研修を実施した。全国通訳案内士の資格取得後、5年に一度受講する必要がある研修であり、今後も持続的に実施していく。

・本年度は昨年より開始したオンラインでの通訳案内研修のみを実施、会場で受講するものと遜色ない内容を在宅で修了試験まで受講することが出来るようになり、全国の通訳案内士の受講が可能となった。また、常時受け付けの為、実施日や実施時間に左右されない利便性や学習効率の高さも好評を博し、その売り上げは対前年度比 758.1%まで増加し、235 万円余の実績額となった。

3 出版事業

期 数	第 15 期	第 14 期	第 13 期
年月	2021 年 10 月～ 2022 年 9 月	2020 年 10 月～ 2021 年 9 月	2019 年 10 月～ 2020 年 9 月
自主出版	431,226 円	1,769,452 円	4,061,376 円
著作権収 入	324,415 円	550,285 円	1,597,991 円
計	755,641 円	2,319,737 円	5,659,367 円
対前年度 比較	32.5%	41.0%	304.5%

説明

第 15 期の売り上げは、出版全体の売り上げの内、日本文化体験交流塾発刊の書籍に限った金額である。新型コロナウイルス感染症の影響に加え、例年と異なるスケジュールでの実施となったため、全国通訳案内士試験の受験者離れが加速し、受験者が激減、合格者も前年度より 140 名程度少ない、347 名であった。そのような状況下でも新規会員数は昨年とほぼ同数に維持したが、新人研修テキストの販売もコロナ以前と比べると不調で、前年と比べ売り上げが減少した。

①自主出版は日本文化体験交流塾が作成して発行している書籍の合算。

【日本文化体験交流塾発行の主な書籍】

通訳ガイドのための観光ガイドブック「京都編」※	2020 年発刊。観光地域ごとの歴史を紹介。
通訳案内士のための基本知識 ガイド実務編	新人研修テキスト
国際人のための日本文化の基礎知識	新人研修テキスト
ジャパニーズカルチャーシリーズ	日本文化を体系的に学ぶ基本テキスト 他

※2021 年に出版した、東京編以降の「地域の歴史が学べる観光ガイドブック」は、TJ 出版から発行。

②著作権収入は、三修社から発行しているテキストの印税収入の合計。

【三修社より発行している主な書籍】

全国通訳案内士試験「実務」合格！対策	全国通訳案内士試験「英語 1 次（筆記）」合格！対策
全国通訳案内士試験「歴史」合格！対策	全国通訳案内士試験「英語 2 次（口述）」合格！対策
全国通訳案内士試験「地理」合格！対策	

③出版事業は、収益事業の性格が強く、True Japan Tour 株式会社において、Amazon での販売登録や Kindle 対応を進めることとしたため、前期より、出版事業の中心は True Japan Tour 株式会社に移管していることも売上額減少の主な理由の一つである。

参考 TJ 出版として、True Japan Tour 株式会社から発刊した書籍

地域の歴史が学べる観光ガイドブック 東京編
地域の歴史が学べる観光ガイドブック 近畿岡山県編
True Japan Keywords 600 Vol.1～3
通訳問題 200

第4 支出について

1 事業費について

	項目	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
1.事業費 (1)人件費	講師謝礼	8,269,956 円	5,432,137 円	7,666,548 円
	事業助手	146,807 円	335,918 円	1,018,193 円
	(1)人件費 小計	8,416,763 円	5,768,055 円	8,684,741 円
(2)運営経費	業務委託費及び事務委託	16,336,695 円	14,181,822 円	13,090,914 円
	支払手数料 (事業)	1,096,981 円	1,031,952 円	813,240 円
	その他経費	1,831,579 円	5,733,885 円	6,510,512 円
	(2)運営経費 小計	19,265,255 円	20,947,659 円	20,414,666 円

・研修事業の実施に合わせて、講師謝礼が増加した。

2 業務委託費

機械振興会館の諸施設は、True Japan Tour 株式会社が借り上げている。日本文化体験交流塾は、こうした施設の利用や、IJCEE への出向社員やスペース利用、光熱水費、通信費等の経費として、業務委託を実施している。

3 職員数 (2022年9月末現在) と人件費

	項目	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
2.管理費 (1)人件費	人件費	2,990,007 円	3,710,473 円	6,542,628 円

- ・常勤職員 1名 (2019年: 2名)
- ・非常勤 0名 (2019年: 3名)
- ・上原副理事長の退職、菊地専務理事の報酬の減額等により、人件費総額が減少した。

4 設備費

	項目	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
(2)設備費他	システム利用料・通信費計	1,878,863 円	3,607,876 円	2,851,746 円
	その他経費	1,634,481 円	1,613,481 円	1,175,659 円
	(2)設備費他 計	3,513,344 円	5,221,357 円	4,027,405 円

2021年12月をもって、アサイン丸の契約を打ち切り、クラウドサービスであるフォームメーカーに切り替えたことにより、システム利用料が減少した。

(参考) True Japan Tour 株式会社の事業報告について

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾が出資する True Japan Tour 株式会社の事業は、以下のとおり報告された。

なお、令和4年3月31日に、令和3年12月25日第9回定時株主総会決議に従って、資本金の減少を行なった。

この結果、貸借対照表に以下の変化が生じた。

- ① 資本金が減少 (150,000,000 円→98,982,511 円)
- ② 繰越損失が解消 (△51,017,489 円→0 円)

True Japan Tour 株式会社第10期決算報告書 (抜粋)

貸借対照表

令和04年09月30日 現在

True Japan Tour株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	209,215,757	【流動負債】	6,892,558
現金及び預金	168,592,992	買掛金	1,405,315
売掛金	18,328,764	短期借入金	4,000,000
商品	1,768,155	未払金	782,053
仕掛品	9,201,679	預り金	415,190
短期貸付金	10,000,000	未払法人税等	290,000
未収入金	72,000	【固定負債】	174,104,000
未収還付法人税等	551,900	長期借入金	174,104,000
未収還付消費税	275,400	負債の部合計	180,996,558
前払費用	212,050	純資産の部	
預け金	212,817	科目	金額
【固定資産】	43,037,010	【株主資本】	71,256,209
有形固定資産	7,299,913	資本金	98,982,511
建物附属設備	5,670,000	資本剰余金	3,500,000
工具器具備品	1,629,913	資本準備金	3,500,000
無形固定資産	4,642,297	利益剰余金	△31,226,302
電話加入権	134,999	その他利益剰余金	△31,226,302
ソフトウェア	4,507,298	繰越利益剰余金	△31,226,302
投資その他の資産	31,094,800	(うち当期純損失)	△31,226,302
敷金	20,094,800	純資産の部合計	71,256,209
差入保証金	11,000,000	負債・純資産の部合計	252,252,767
資産の部合計	252,252,767		

損益計算書

自 令和03年10月01日

至 令和04年09月30日

True Japan Tour株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	123,644,056	123,644,056
【売上原価】		
期首商品棚卸高	1,261,641	
原価(外注費)	25,272,443	
原価(その他)	33,058,452	
合計	59,592,536	
期末商品棚卸高	1,768,155	57,824,381
売上総利益		65,819,675
【販売費及び一般管理費】		104,002,974
営業損失		△ 38,183,299
【営業外収益】		
受取利息	73,837	
雑収入	7,992,829	8,066,666
【営業外費用】		
支払利息	819,392	819,392
経常損失		△ 30,936,025
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純損失		△ 30,936,025
法人税等		290,277
当期純損失		△ 31,226,302